昭和31年8月6日第三種郵便物認可
社団法人日本専門新聞協会加盟紙

かごしま 建設新聞

株式会社鹿児島建設新聞
発行人 大迫純隆
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099－227－5100番
FAX 099－225－1919番
振替口座 02020－5－2558
ホームページ
http://www.kc-news.co.jp

建設機材のリース・レンタル
中央仮設㈱
受注専用 FAX0120・880・689
本社 ☎099・229・5900
鹿児島（永吉・川上・緑ケ丘・串木野
出水・大口・空港・南薩・金峰・鹿屋
お近くの営業所から迅速にお届けします

公共事業に308.6億円

一般会計419.1億円 県の9月補正予算案

県単には59億円

農業開発総合センター 肉用牛現場実習施設整備

県は6日、13年度9月補正予算案を発表した。一般会計は419億1300万円を追加、前年度同月比0・3%減の累計総額1兆220億7900万円となる。特別会計は5000万円を追加している。公共事業に308億6800万円、県単公共事業には59億円を補正。性質別では、普通建設事業398億円（直轄・補助322億8300万円、単独75億1700万円）となっている。主なものは、農業開発総合センター整備9億6839万9000円、砂防事業等調査2億3100万円、鹿児島港（中央港区）整備2億円―などがある。

（2面に公共事業調書と新規施策等の概要を掲載）

マリンポート かごしま廃棄物護岸も

今回の補正は、国庫支出金の確定した事業等を計上するとともに、県内経済の動向等に配慮して県単公共事業を追加計上、その他の単独事業にも所要の措置を講じた。補正後の公共事業は、前年同期比1・4%減の2307億300万円となる。

主要事業をみると、農業開発総合センター整備があり、今回の補正後の累計予算額は52億8409万3000円となる。日置郡吹上町と金峰町に建設中の同センターについて、農業大学校の肉用牛現場実習施設整備や用地購入等を予定している。

また、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成として、鹿児島港（中央港区）整備に追加。マリンポートかごしまの廃棄物護岸に当初予算と合わせて9億円となり、累計総額は21億8000万円となる。砂防等調査については補正後の累計が3億4100万円となり、土石流警戒区域等の看板へ向け、土石流危険渓流や地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険個所の基礎調査を実施予定。

このほか、老人福祉施設等整備に1億5320万6000円、精神障害者社会復帰施設整備に8259万1000円、新規では地域材利用学校関連施設整備に5220万円を計上している。

一般会計目的別補正状況

（単位：百万円、%）

区分	補正前の額	補正額	補正後 予算額	補正後 構成比
議会費	1,658	0	1,658	0.2
総務費	63,841	32	63,873	6.2
民生費	78,064	319	78,383	7.7
衛生費	35,675	258	35,933	3.5
労働費	3,205	105	3,310	0.3
農林水産業費	147,553	11,820	159,373	15.6
商工費	25,620	420	26,040	2.5
土木費	168,539	26,701	195,240	19.1
警察費	43,801	807	44,608	4.4
教育費	226,075	92	226,167	22.1
災害復旧費	3,354	1,359	4,713	0.5
公債費	140,690	0	140,690	13.8
諸支出金	41,891	0	41,891	4.1
予備費	200	0	200	0.0
合計	980,166	41,913	1,022,079	100.0

県、名瀬西部地区トンネル等4件

土木2社JVの公募型

鹿南高屋体は建築3社JV

17日まで受付け

県は6日、農免農道整備事業名瀬西部地区トンネルや鹿児島南高校屋内運動場改築工事など公募型指名競争入札4件について実施要領を告示した。主な応募資格要件は、名瀬西部が県内外の土木で総合評点1200点以上と大島支庁土地改良課管内に営業所を有す者による2社JV、川薩2期地区7号トンネルが県内外の土木1200点以上と川薩地区に営業所を有す者との2社JV、川薩地区2号トンネルは県内の土木930点以上と川薩地区に営業所を有すものによる2社JV、鹿児島南高校が県内に本店を有す建築の910点以上1社、850点以上2社による3社JV。4件とも申請書等は17日まで受付け付ける。

（4、5面に実施要領を掲載）

名瀬西部地区トンネルの工事場所は名瀬市里から知名瀬まで。工法はNATM で延長は996㍍（トンネル970m、道路26m）、幅員は車道5・5（全幅9・25）㍍。工期は900日間。川薩2期地区7号トンネルの建設地は川内市陽成町春花から小倉町乙須まで。NATM工法で延長は632㍍（トンネル360m、道路272m）、幅員は車道5・5（全幅9・25）㍍。工期は660日間。川薩地区2号トンネルは薩摩郡鶴田町大野から中間までに建設する。工法はNATM、延長400㍍（トンネル270m、道路130m）、幅員が車道6（全幅9・75）㍍。工期は570日間を見込む。

また、鹿児島南高校屋内運動場改築の場所は鹿児島市上福元町。用途は屋内運動場と渡り廊下棟で建物規模がRC一部S造4階建延べ5441平方㍍。主要室は柔剣道場、フェンシング場、トレーニング室、部室、機械室、屋内運動場、卓球場、放送室から成る。工期は14年1月から15年6月までとなっている。

問い合わせ先は、名瀬西部地区が大島支庁土地改良課総務用地係（☎0997・53・1111）、川薩関係が川内耕地事務所総務課（☎0996・23・5151）、鹿児島南高校が県土木部建築課（☎099・286・2111）。

県、財政改革プログラム骨子発表

来年度 公共事業を10%削減

県は6日、県財政改革プログラムの骨子を明らかにした。その中では、14年度に公共事業の見直しで公共、県単公共事業を10%削減する。県単公共は14年度から16年度までの3カ年をそれぞれ10%削減するとしている。

大規模施設の整備では、すでに着手している大規模施設の計画見直しによる平準化や総事業費の圧縮を検討するほか、現有施設の耐震改築事業の計画的な推進、構想・設計段階にある事業の凍結、PFIの導入などの検討などを行う。また、毎年2200億円程度、5カ年で総額1155億円の要調整額が生じることを見込んでいる。

けんぴつ

最近の携帯電話の普及には目を見張るものがある。成人以上では誰もなく1人1台になるらしい。周りを見渡しても持っていないのが珍しいほど。実際、街中の至る所で会話したり携帯とにらめっこしてメールを打っている若者をよく見かける▼携帯メールを「日本人は親指で友達と会話している」と報じる海外マスメディアがあるほど。固定の家庭用電話、公衆電話は年々衰退し、小型化や次世代通信に向けた携帯の開発などとどまるところを知らない▼このような中、高齢者市場をターゲットにした大文字表示やワンタッチ操作が可能な携帯が「敬老の日」に発売される。使いこなせるかは別として、携帯市場を拡大する意味では素晴らしい戦略かも▼社内の片隅に一昔前のトランシーバーのような携帯電話が眠っている。たまに見ると時代の変遷を垣間見るようで面白いが、話せれば用が事足りる時代がふと懐かしく思えた。

コンクリートをワイヤーで切る時代！
切れ者参上
ダイヤモンドワイヤーソーリング
ウォールソーイング（ダイヤ電着）
コンクリートホッチング
コンクリート・ロックリング（ダイヤ）
ライフレス・ドリル（ダイヤコアドリル）
ロボット（ダイヤ）アンカー工事
開口工事（ライフレス工事）
JOIDA MEMBER
株式会社 西部システム
宮崎市阿波岐原町字馬場1133 0985-46-8613

営業種目
■セメント事業部
トクヤマセメント・新日鐵化学高炉セメント・アルミナセメント
早強ポルトランドセメント・膨張性セメント・セメント混和材
セメント急結材・セメント防錆材・躯体防水材・目地材
■建設資材事業部
丸鋼・異形棒・H形鋼・厚鋼板・角パイプ・構造管・シポレックス
メタルフォーム・ガードレール・HBB・鋼材・鋼矢板・鋼管杭
■ヒューム管事業部
JIS規格製品・ヒューム管・プリューム・各種二次製品
PSC・HCボックス・カルバート・積みブロック・下水路(L形)
FRPM管・(強化プラスチック複合管)
■土佐屋生コンクリート㈱・本部

建設資材の総合商社
人づくり、街づくり、夢づくり。
TOSAYA
株式会社 土佐屋

セメント事業部 ☎099-226-5135
建設資材事業部 ☎099-226-5132～5137
大隅支店 ☎0994-44-5547
北薩支店 ☎0996-53-0825
鐵鋼流通センター ☎099-262-3110
ヒューム管事業部・本部 ☎099-216-5930～38
加治木工場 ☎0995-63-2170 出水工場 ☎0996-82-1155
蒲生工場 ☎0995-59-3894
土佐屋生コンクリート㈱・本部
☎099-268-6281
鹿児島市甲突町27番22号 ☎099-226-5131㈹